

みとよのみ活動レポート



かがわ物産館栗林庵



1 昨年11月、かがわ物産館栗林庵で市の農産物の認知度およびイメージ向上のために、試食販売やPRを行いました。高瀬茶業組合の皆さんによる高瀬茶の試飲や、旬のみかん、キウイ、さつまいもやオリブを使った商品、いりこなどの販売を行いました。日本人観光客だけでなく、外国人観光客も多く訪れ、国内外へみとよの“み”を発信する機会となりました。



高知市内



2 今年1月には、2回目の県外での活動として、高知市内の小売店で試食販売やPRを行いました。みかんジュースや柿、ドライフルーツ、いりこなどを販売し、地元のお客さんを中心に多くの人にぎわいました。



3 昨年度は、地域農産物付加価値づくり事業1年目の取りまとめとして、活動報告会が行われました。報告会では、この事業に取り組んだ事業者6組が事例発表をした後、バイヤー※さんが試食をしました。バイヤーさんからの各商品への意見を直接聞けるとあって、今後の販路開拓に向けての貴重な機会となりました。

※バイヤー…小売りの仕入れ担当のこと

みとよのみプロジェクト参加メンバー募集

商品開発したい

ワークショップに参加できる人

地域に想いがある人

デザイン・販路開拓したい

農林水産業に携わっている皆さん

一緒にみとよのみプロジェクトに参加して商品開発・販路開拓に取り組んでみませんか？

みとよのみプロジェクトの趣旨に賛同し、プロジェクトチームの一員として、ワークショップなどに参加し、新たな商品開発・販路開拓に取り組むメンバーを募集します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

▶申し込み・問い合わせ 農林水産課
☎ 73-3040 E-mail:nourin@city.mitoyo.lg.jp

地域農産物付加価値づくり事業

みとよの みんなの おいしいみのり

みとよのみプロジェクト

フルーツ、野菜、お米、お茶、お魚…、みとよにはおいしい恵みがいっぱい。市では、すでにある魅力的な農水産物や関連商品を活用し、これから新しく三豊市の魅力になるものを「みとよのみ」として市内外に発信していきます。



▲「三豊」の「実」であることが分かりやすくなるよう丸い実の中にひらがなでおいしい顔を描いたロゴデザインです

「みとよのみ」商品。みかんやキウイフルーツ、タケノコ、トマト、天日干しのはぜかけ米やリゾット専用品種のお米などを使って開発しました



三豊市は、瀬戸内の温暖な気候や日照時間の長さから、びわ、ぶどう、桃、みかんやレモンなどの柑橘やキウイフルーツ、柿など、おいしい果物が豊富にとれるフルーツ王国です。さらに香川県下有数のお茶どころでもあります。他にも、瀬戸内海のいりこや新鮮な野菜、お米など自然の恵みがいっぱいあります。

みとよのみプロジェクトは、今すでにある魅力的な農産物、水産物のほか、今後、魅力となる新しいものを「三豊の実」として6次産業化※を進め、地域産品の開発に取り組み、食を支える1次産業の新たな魅力を発掘するプロジェクトです。

※6次産業化…1次産業の農林漁業と2次産業の製造業、3次産業の小売業とを組み合わせ、農山漁村の豊かな地域資源を活用することで、地域経済を豊かにしていくこととする取り組みのこと

みとよのみプロジェクトとは？

みとよのみプロジェクトにかける想い



▲みとよのみプロジェクトプロデューサーの畦地履正さん(株式会社四万十ドラマ代表取締役／ふるさと財団 地域再生マネージャー)

これまで市内の生産者さんたちと一緒に、みかんやキウイフルーツ、タケノコ、トマト、天日干しのはぜかけ米、やリゾット専用品種のお米などを活用した商品を開発したほか、三豊の農産物を原料にした草木染、ハンバーガー、栗のスイーツなどの試作に取り組みました。また、みとよのみプロジェクトメンバーとして販売促進や商談会にも参加してきました。

今年度も参加者同士のチームワークを深めつつ、商品の磨き上げや新しい商品開発・販売促進などに取り組み、地域の農産物、水産物のブランド力の向上をめざします！

※株式会社四万十ドラマ…「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに、地域資源を生かした商品開発など地域と密着した事業展開を行っている。全国各地の地域産品の商品開発に対して考え方をアドバイスするなど、地域の魅力を伝えている。